

太工通信

令和5年度第7号

アイディアロボット研究部、
圧倒的創造力でロボット競技大会を制す！



優勝した「紫電」(太田工業高)のメンバー

高校ロボット大会県予選

太工「紫電」が優勝

10月 上位3チーム全国へ

機械制御の技術やアイデアを競う第31回全国高校ロボット競技大会県予選(県工業教育研究会ロボット委員会主催)が23日、伊勢崎市の人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで開かれ、県内5校から9チームが出場した。時間内にロボットで物を運んだり、置いたりして得点を争い、346点を獲得した太田工業高のチーム「紫電」が優勝した。

競技時間は3分。恐道などを越えて所定の竜の化石を発掘し、坂場所に展示するという想定で熱戦が繰り広げられた。穴の中に隠した大小の空のペットボトルとテニスボールを化石に見立てた。ロボットは人が操作するリモコン型と、自動走行するタイプの2種類を原則使用。午前と午後1回ずつ競技を行い、より高い点数で評価した。

紫電のメンバーは3年の吉田瑠晃さん、上岡駿太さん、川崎蓮斗さん、1年の増山拓哉さん、大肚心之丞さんの5人。大きいサイズのペットボトル(700ミリ)を扱うと高得点が狙えることに着目してロボットを作り、本番に臨んだ。紫電は5本全ての設置に成功し、1回目でもトップに。2回目は300点に届かなかったが、首位の座を維持した。チーム代表の吉田さんは「去年はあと少しで全国出場を逃したので、最高にうれしい」と言葉を弾ませた。準優勝は同校の別チームの雷光(342点、3位は桐生工業高の黒星(ブラックスター)1,230点だった。上位3チームが10月28、29の両日に福井県で開かれる全国大会に出場する。(小沢官信)